

## 家畜保健衛生所からの情報発信の充実

湘南家畜保健衛生所

後藤 佐知子 石川 梓  
荒井 信行 福岡 静男

### はじめに

神奈川県では、畜産農家の近くに住宅が立ち並ぶ状況になっており、地域住民への畜産に対する理解醸成は欠かせない。また、「地域と共生する畜産」が畜産経営を継続させる上でのキーポイントにもなっている。

湘南家畜保健衛生所（以下、当所）は、現在、企画指導課と防疫課の2課体制で業務を遂行している。企画指導課を中心に、獣医事及び薬事に関する指導業務、畜舎環境や飼料安全に関する指導業務などを行っているが、新たな業務として、平成22年度から広報広聴を主とする、畜産の理解醸成のための食育出前授業、子ども獣医師体験、地元のイベント時における地域へのPR活動等にも取り組んできた。

しかしながら、未だに県内に畜産農家がいることに驚く住民が存在しており、安心・安全な畜産物の生産や畜産環境対策に努力していても、その姿がどこまで伝わっているのかと、疑念が残る。また、家畜保健衛生所(以下、家保)の仕事もあまり知られていない。

そこで、当所として、畜産に関する、さらなる情報発信力を高めようとする取り組み、一定の成果が得られたので、報告する。

### これまでの取り組み

これまでの取り組みの主なものは、地域住民に対する情報発信が重要と考え、動物フェスティバル等地域の畜産関係のイベントにおいて、聴診器を用いて、鶏や牛の心音を聴く「子ども獣医師体験」や畜産に関するパネル展示、また、地元の中学・高校の生徒を対象に、学校へ出張して行う「食育出前授業」さらに、家保ホームページ（以下、HP）を利用した家保業務についてのPRなどであった。

## 今回実施した取り組みの概要

はじめに、より効果的な情報発信について検討した（図1）。

まず対象別については、

- ① 小さい頃から、畜産を身近に感じてもらうため、小学生など子どもへの情報発信を増やす。
- ② 近い将来、よりよい発信者となってくれることを期待して、獣医学生にも、積極的に情報発信する。
- ③ 畜産への理解者を増やすには、一般県民に地域の畜産農家の姿をありのまま伝える、こととした。



「図1 より効果的な情報発信」

「図2 情報発信の方法」

次に情報発信の方法を整理した（図2）。

家保だからできる、情報発信という視点で考える。

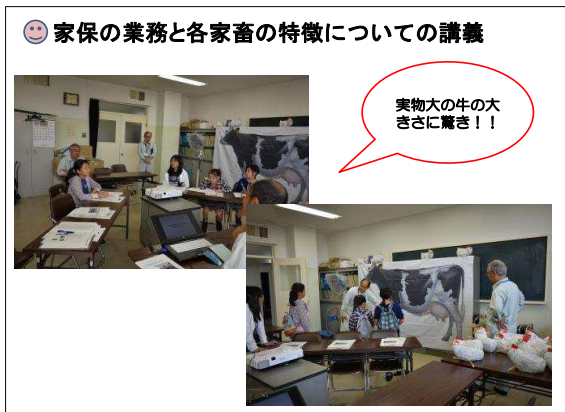
- ① 小学生への情報発信としては、これまでの学校への「出張」出前授業から、家保の業務をより身近に感じてもらう、家保の業務を通じて畜産を理解してもらう目的で、家保の施設見学を実施する。
- ② 獣医学生への情報発信としては、従来から「学生実習」を受け入れるという形で、実施している獣医学生実習を活用する。
- ③ 一般県民への情報発信としては、家保HPを充実し、これまでの家保業務のPRに加え、地域の畜産情報を掲載する、こととした。

次に、それぞれの取り組みについて、順に紹介する。

### 1 食育出前授業としての施設見学

これまで、出張で実施していた「食育出前授業」を、家保施設の見学として、地域の小学生（数名）に対し実施した。

始めに会議室で、乳牛実物大のタペストリーを利用するなどして、各家畜の特徴や家畜の生涯についてわかりやすく説明、また家保の業務についても、理解しやすいよう、説明を行った（写真1）。その後、各検査室に移動し、家保で実際に実施している抗体検査や細菌検査について説明、家畜の疾病と関連付けることで家保業務についても理解を深めてもらった（写真2）。



「写真1 家保の施設見学・会議室」

「写真2 家保の施設見学・検査室」

見学後の子どもたちの感想は、「家畜にもいろんな病気があることがわかった」、「家畜を健康に育てるのは大変な仕事だ」などで、実際に目で見て体験したことにより、記憶に残ることが期待された。

## 2 学生実習の活用

学生実習については、従来から獣医学生を受け入れており、有意義な実習になるよう日ごろから工夫しているが、実際に学生はどう感じているのか、実習の活用を考える前に、アンケートを今年度から実施した（図3）。

アンケート (before) にご協力ください。

☆多☐当所の研修について、学生さんの目線で考えてみる、という目的です。  
 ☐☐☐こんなこと言っては悪いかな、など一切ありません。お名前も残しませんので気楽に答えてください。  
 職員の状態が変わることも全くありません。ご心配なく(笑)。☐☆多☐

★Q1☐「今回の研修に参加された理由にもっとも近いもの」は次のどれでしょうか?☐(基本1項目選んでください)

アンケート (after) にご協力ください。

☆多☐当所の研修について、学生さんの目線で考えてみる、という目的です。  
 ☐☐☐研修を終了してのアンケートになります。  
 職員の状態が今後変わることもありません。ご心配なく(笑)。☐☆多☐

★Q1☐「家畜保健衛生所(以下、家保)」に対して持っているイメージは変わりましたか。(複数回答OK)

☐①家畜防疫の最前線  
 ☐②家畜の健康を守る

「図3 学生へのアンケート」

今年度は学生が2名と少なく、集計も2名分であったが、今後もアンケートは継続実施する予定である。アンケートは実習開始前と実習終了後の2回実施し、設問内容は、実習前後ではほぼ同様に、「家保に対するイメージは?」、「実習を通じ、習得できたものは何ですか?」、「実習の進め方についてのご意見は?」となっている。

アンケートの結果から、「家保に対するイメージは?」の設問では、実習前は、「家畜防疫の最前線」のみであったのが、実習終了後には、「畜産振興に寄与している」も加わっていた。

また、「何を習得したいか?」「何が習得できたか?」の設問について、実習前は、習得したいものとして、「防疫業務の内容や採血等の技術の向上」のみであったが、実習後習得できたものとしては、これらの他、「本県の全般的な畜産事情について」が加わっていた。

一方、畜産農家の現状について習得・理解できた、との回答は1名であった。

以上から、これまでの学生実習でも学生たちは本県の畜産事情や家保の畜産振興業務については、ある程度理解を深めていたものの、畜産農家の現状については、さらに積極的に情報発信していく必要があると思われた。今後は、学生実習に、「畜産農家と直接会話ができるような機会をより増やす」ことを進めたいと考えている。

### 3 家保 HP の充実

当所の HP に、「湘南地域の畜産情報」ページを新たに作成、公開した（図4）。

**家保HPの充実**

**湘南家畜保健衛生所**

家畜保健衛生所は、地域における家畜衛生の向上を図るため、県内2か所に設置されています。  
湘南家畜保健衛生所は、管内の家畜伝染病予防、家畜衛生向上、獣医師法に関する業務を行っています。



**家畜保健衛生所の仕事**

> [家畜保健衛生所の仕事を紹介します](#)

**湘南地域の畜産情報**

> [湘南地域の畜産に関する最新情報や畜産農家の一日をご紹介します。](#)

**ここが New !**

「図4 家保 HP に公開した湘南地域の畜産情報」

この「湘南地域の畜産情報」ページには、「畜産農家の日常レポート」と「畜産農家の一日」のコンテンツを作成した。「日常レポート」では、飼料畑で、とうもろこし作りに精を出す酪農家の姿など、何気ない毎日の出来事だが、一般の人にはきっと新鮮な出来事と思われる内容を、また、「畜産農家の一日」では、各家畜の生産者の一日の仕事をレポートをそれぞれアップしていく（図5）。

具体的には、これまでに自給飼料作りを追ったレポート及び酪農家の一日を作成している。



「図5 湘南地域の畜産情報のコンテンツ」

図6及び図7は酪農家の一日のページです。



「図6 酪農家の一日」

管内の一酪農家に主旨を説明し、取材について協力をお願いした。文字は減らし、写真を多く掲載するようにし、県民が普段知ることができない、畜産農家の日々の作業をイメージし易く伝えることを心がけて作成した。



「図7 酪農家の一日」

家保 HP を見た人から、取材した酪農家に寄せられた反響としては、①小学生の親から、「活字では読んだことがあるが、写真で見たのは初めてだ。作業手順がよくわかり、また気を使って牛乳を生産していることが伝わってきた。勉強になった。」

また、②大学生からは、「他県の農場の紹介は見たことがあるが、神奈川県にもがんばっている酪農家がいることがわかった」などであった。

以上のことから、写真等の目に訴えかける情報発信は効果が高いと再認識できた。

また、取材した酪農家からの、「こんなに反響があるとは思わなかった。理解してくれる人がいると思うとがんばれる、という気持ちになった」、「HP は畜産理解の啓発活動に有効、今後も是非続けて欲しい」という言葉には励まされた。HP は情報発信ツールとして、大きな効果が期待できると思われた。

## 今後の対応

今後も、小学生対象の施設見学については食育出前授業として、継続して実施、学生実習については畜産農家とのコミュニケーションの時間を多く確保したい。また HP については地域の畜産情報を継続して掲載することとし、HP を見た人が、畜産への興味を持ち続けてもらうために、順次更新するよう、努力する。

## まとめ

今回取り組んだ、食育出前授業（施設見学）、学生自習の活用、家保 HP の充実について、現時点では、それぞれ情報発信としての効果が期待できるが、今後も県民の反響をみながら、より効果の高い情報発信に努めていきたい。家保だからできる情報発信を今後も強化・充実していくことで、「地域と共生する畜産経営」の一助となればと考えている。

## 参考資料

- 1) 食みらい かながわプラン（神奈川県食育推進計画） 神奈川県環境農政部環境農政総務課
- 2) わたしたちのくらしと神奈川の農林水産業 平成 28 年度版 神奈川県環境農政局企画調整部